

上海万博について

2010年12月2日

上海万博日本政府代表

塚本 弘

1. 上海万博の概要

会 期：2010年5月1日～2010年10月31日

テーマ：より良い都市、より良い生活（Better City, Better Life）

参加者数：190カ国、56国際機関

会場面積（展示エリア）：3.28k㎡

《入場者数》

入場者総数：7,308万4,400人（10月24日に目標の7000万人を突破、万博史上最多）

※参考 大阪万博（1970年）

入場者総数：6,421万8,770人（上海万博以前の最多記録）

1日の最高入場者数：83万5,832人（上海万博以前の最多記録）

平均入場者数：35万922人/日

2. 上海万博日本館の運営

（1）経費 約130億円（50%政府、50%民間）

（2）テーマ： ころの和、技の和

来館者総数：541万8,343人（イベントステージ来館者数を含む）

平均入館待ち時間：3時間45分

（3）展示のポイント ①日中の交流（遣唐使、朱鷺(トキ)の交流)
②ハイテク（ロボット、環境技術）
③美しい日本（季節感のある暮らし、伝統美術）

（4）表彰

日本館はタイプA（4,000平米以上の敷地面積をもつ独自パビリオン）展示部門で「様々な技術がコンビネーションよく展示されている」と評価され、銀賞を受賞。（金賞：サウジアラビア館、銅賞：インドネシア館）

3. 万博の運営

運営委員会議長としての経験

最初の1、2ヶ月は苦難の日々

- (1) セキュリティ優先 (入管パスの制限、ゲートでのチェック等)
- (2) 車両の乗り入れ規制
 - (i) 開会式前 (4月10日~30日) の乗用車の乗り入れ規制
 - (ii) 開会後の万博会場への乗り入れ
- (3) 行列問題

【成功の要因】

- (1) リーダーシップ 愈正声上海市共産党書記、楊副市長
 - ー「オリンピックと万博は違う」
 - ー「上海はこの万博を完全無欠な上海として迎えるべきではない。それは不可能だし、事実ではない」
- (2) 「日々改善」の精神 愛知万博のノウハウの継承
- (3) 新聞の役割 (特に中国語の万博専門紙「毎日快報」)
ネガティブな情報 (ダフ屋、行列の混乱など) の提供が改善への契機
- (4) 中国代表との信頼関係
「兼听即明」(広く意見を聞くと明らかになる) (華代表) と「率直対話」(塚本)

4. 中国にとっての上海万博の意義

- (1) 外交的成果 アフリカ支援 (50カ国) (愛知万博 30カ国)
台湾館 大阪万博以来の参加
- (2) 経済的効果 上海万博の費用 建設費用 180億元 (約2,250億円)
運営費用 106億元 (約1,325億円)
合計 約300億元 (約3,750億円)
(愛知万博 3,800億円 (内、建設費用 1,460億円、運営費用 2,340億円))
万博の収支計算 大阪万博 155億円の黒字
愛知万博 140億円の黒字
- (2) 万博の運営を通じた国際社会との調和

5. 万博と日本との関係

- 1) パリ万博 (1867年) 薩摩、鍋島が「ニッポン」として出品
- 2) ウィーン万博 (1873年) 明治政府による参加「米欧回覧実記」
- 3) 幻の東京万博 (1940年)
- 4) 大阪万博 (1970年)
- 5) 愛知万博 (2005年)